

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第120号(通算)

令和5年10月6日(金)発行

10月は和風月名で、神無月と言われ、読み方は(かんなづき)、(かみなづき)、(かみなしづき)など様々あるそうです。更に、一説によると、この時期に全国の神社の神様が出雲大社に集まり、神が不在のため神無月と呼ぶようになったそうです。また逆に島根県の出雲地方では10月のことを神在月(かみありづき)と呼ぶと言われています。出雲大社は、大国主大神様(おおくにぬしのみこと)“だいこくさま”として広く慕われている神様をご祭神としてお祀りしてある大社(おおやしろ)です。私も大学生時代(36年くらい前)に参拝しました。



統一LHR(人権同和教育)

令和5年9月14日(木)

蒸し暑い体育館で統一LHRとして「性の多様性の理解～わたしも大切 あなたも大切～」と題した講演が県人権同和教育課より福雅彰指導主事をお招きして行われました。



アイスブレイクで場が和んだところで、講演が始まり、講演が進むにつれて、生徒達も内容を理解が深まり、一人一人の個性を認めていけるようになったと感じました。自分らしく生きることの大切さを改めて認識しました。



小論文ガイダンス(3年生)

令和5年9月15日(金)

今年も、第一学習社の田中潤一先生をお招きして、小論文ガイダンス(3年生対象)を行いました。



実際の小論文模試による生徒の答案例を取り上げて、良い点や改善点を具体的にわかりやすい事例を示しながら講義は進みます。また、実際の受験に出題されやすい課題に対する具体的な対処方法やポイントを学びました。

2年生教育講演会

令和5年9月13日(水)

2年生と保護者向けの教育講演が行われました。講師は、株式会社RaJAの代表取締役の福島さりい氏で「生きる力のキャリア教育とは」と題した講演を行っていただきました。まず、株式会社RaJAとは、鹿児島市で留学会社、保育施設、アフタースクール施設及び習い事スクールを運営している会社です。その社長であるさりいさんの実体験に基づいた講話に、多くの生徒たちや保護者が心を引き込まれていました。今後進路実現に向けてチャレンジする彼らに、大きな勇気を頂きました。



「歴」ではなく、「個」。



進路とは、決断の積み重ねでできている。



今の努力、未来の自分。

全校朝礼(校長講話)

令和5年9月25日(月)

高校生にとって勉強が必要な理由

それは、「勉強することで、選択肢が増える」ということです。実際に、知識や経験が豊富な人は選べる選択肢が多いものです。

高校生が勉強して知っていることが増えれば、人生の選択肢が増える。

では、選択肢が増えるってどういうこと？

例えると、

「食事に行くとき、財布の中に1,000円の時と、10,000円ある時」を想像してください。

食事できるメニューの選択肢は同じですか？

財布の中身が多い時は、食べられるメニューの選択肢が増えます。逆に少ないと品数が限定されます。(行けるお店も限られます)

選択肢は多いほうがいいと思いませんか！

勉強しない?勉強する? で未来はどう変わるか!!

×勉強しなかった人

とりあえず言われたことだけやって高校卒業。特にやりたいこともなく、その場のしぎ……

就職から数年後 →

周りの人はすごく楽しそう!と人をうらやむ生活

◎勉強した人

今やりたいことはない、でもいろんなことを勉強して、いろんなことを経験つんできた。

気になる職業が増えて、選べるって楽しい……

就職から数年後 →

後悔しないためにも、人生日々勉強だ!と苦もなく努力を継続出来ている。

私たちは生活していくうえで多くの選択を迫られます。その時、経験や知識を備えていると、正しい選択が出来、犯罪行為などの事件を回避出来る能力が高まります。

何が自分に必要な勉強なのかは、誰にも分かりません。しかし、いま学べる勉強や体験を積み重ねることが、いざというとき役立つ選択肢を拡げてくれるのです。

今やりたいことが明確じゃなくても、後悔しないために選択肢を拡げましょう。「なぜ勉強するのか?」という疑問を持つことだけでも素晴らしいことです。何も考えずに漫然と過ごしている人とは、将来に大きな差が出てきます。

「なぜ?」を大切にすることで、私たちの勉強は始まります。Now,Let's start studying